

OpenSSL の脆弱性情報 (CVE-2014-0224 他) における対応状況について (第4報)

2014年6月5日に報告された OpenSSL の脆弱性情報 (CVE-2014-0224 他) に関して、2014年6月27日時点で判明している弊社リリース済みの Aruba Networks 製品における影響範囲、および対策状況・対策予定について報告いたします。

(1) 対象の脆弱性

➤ Aruba Networks 製品に影響を及ぼす脆弱性

- CVE-2014-0224

➤ Aruba Networks 製品に影響を及ぼさない脆弱性

下記の脆弱性は、対象となる OpenSSL の機能を Aruba Networks 製品が使用していないか有効とされていないため、影響はございません。

- CVE-2014-0221
- CVE-2014-0195
- CVE-2014-0198
- CVE-2010-5298
- CVE-2014-3470

(2) CVE-2014-0224 の影響を受けることが確認された、弊社リリース済み Aruba Networks 製品

- ArubaOS 6.3.x.x
- AirWave (全バージョン)
- ClearPass 6.3.x (弊社からは 6.3.2 のみリリース済)

(3) CVE-2014-0224 の影響を受けないことが確認された、弊社リリース済み Aruba Networks 製品

- Aruba Instant OS (全バージョン)

(4) 現在確認中の Aruba Networks 製品

- ArubaOS 5.0.x.x、6.1.x.x、6.2.x.x

(5) 対策状況・対策予定

Aruba Networks からは、CVE-2014-0224 対策版が各製品で以下の通りリリースされております。

- ArubaOS 6.3.1.8 2014年6月25日に弊社リリース済
- AirWave 7.7.12 2014年6月27日に弊社リリース済
- ClearPass 6.3.3 弊社リリースは未定

※弊社では ClearPass 6.3.2 (CVE-2014-0224 影響あり) のリリースを既にご案内しておりましたが、お客様へのご提供実績はございません。

そのため本件の緊急対策としては、ClearPass 6.3.3 のリリース予定はございません。

CVE-2014-0224 の影響を受けることが確認されている Aruba Networks 製品をご利用のお客様は、各対策版へのバージョンアップを推奨いたします。

引き続き弊社サポート製品における該当機器・非該当機器および対策につきましては、新たな情報を確認次第、当サポートサイト (<http://enugi.hitachi-solutions.co.jp/aruba/>) にて報告いたします。